

高知県商工団体連合会 NO.821(50-5)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

平成30年7月豪雨 中村、安芸を中心に会員も被災

商工新聞も5日遅れで到着。2週分まとめて届けた地域もありました。おわび申し上げます。

中村民商会員被害状況

(7/12現在)

【宿毛会員被害状況…重複あり】

- ・住宅床上浸水2件
- ・住宅床下浸水3件
- ・店舗床下浸水2件
- ・倉庫/車浸水1件
- ・住居敷地内土砂流入1件

(土砂を捨てる所がなく、困っている)

- ・作業場土砂流入1件
- ・漁網が砂まみれ。今月は仕事にならない
- 【大月会員被害状況…重複あり】

- ・住宅床下浸水1件
- ・田畑/ハウス浸水・損壊9件

(山道の修復に人手が足りず、困っている)

- ・ハウスの暖房機水没1件
- 【西土佐会員被害状況】
- ・田んぼ浸水1件

会員の声 ①

(宿毛・栄喜・漁業・床上浸水)

「床上まで水がきた。豊がプカプカ浮きよった。まいたた…。もう、なんともならない！」

(宿毛・中央・美容室・自宅店舗床下浸水)

「お店の床下ギリギリまで水がきた。車もエンジンギリギリまできた。床をはいでみたらええろうけど、費用がかかる。困った…。こんな水害初めて」と、

周りの高齢者も言いよる。」

(宿毛・栄喜・漁業・敷地内土砂流入)

「8日の明け方にすごい雨で、雷もなりだし、鉄砲水が出て、裏山が崩れ、住宅のすぐそばまできた。前の道路が川みみたいになつて、恐いので避難しちよつた。あと30分雨が降りつた。あと30分雨が降りつた。あと30分雨が降りつた。」

「住宅は大丈夫。田んぼが水に浸かり、復旧に部落総出であたりよる。あちこちの集落で断水し、海沿いは土砂崩れで通行止めになつちよる。前回の西南豪雨(平成13年)よりも降つた感じ。満潮と重なつたけん、被害が大きくなつたがやろう。暑うなつてきたけん、被災地は臭いがきつうなりよる。」

(大月・春遠・農家・40代・田畑浸水)

「自宅は大丈夫。ハウスは水浸し。作物も全部だめになつた。まだ出荷できるものもあつたのに、残念…。」

(7/16中村民商ニュース)

安芸民商会員被害状況

(7/13現在)

・住宅床下浸水1件

- ・倉庫浸水1件
- ・ハウス浸水1件
- ・畑浸水(作物被害)1件
- ・仕事先(山奥)への道が土砂崩れで通行止め1件

(2/3ヶ月仕事が出ない)

【会員の声】

Aさん(農業)「道路決壊の恐れのため、避難指示が出たので、避難。玄関に防災セットを用意していたのに気が動転していて持っていくのを忘れていた。」

Bさん(林業)「仕事場の倉庫が川の近くで低い位置にある為、川が氾濫して泥水が倉庫内に浸入。掃除や後片づけが大変やつた。」

Cさん(電気)「家の近くに川があつて氾濫し、床下まで浸水し、ようよう片づけた。」

Dさん(建築)「避難指示が出ていたので夜、避難していた。安芸川の水位が橋の欄干近くまできていたのを目の当たりした時、生きた心地がしなかつた。」

Eさん(漁業)「80年以上生きてきたけん、こんな事は初めて。昔の安芸は台風がえらかつたき、しけにはなれちゆうがやけん。地球温暖化のせいやろかね。」

(7/16会報あき)

香美郡民商

班長・副班長交流会 ②

してくれます。



東川班の藤澤副班長から「班会は参加率ほぼ100%という報告に一同のけぞりました。が、悩みは「申告要求だけなので普段の班会は楽しく参加しているわけではないと思う。高齢化と後継者がいないので会員は減少している」。ちなみに以前は毎回「おきやく」をしていましたが今は片地班と同じく年1回のみ。せつかく集まつてくれるのですから確定申告以外の要求も掘り起し、解決に結びつける班会運営が大切と感じました。」

野市東班の加藤班長は「来る人は決まっちゃうけん、夫婦で季節の食材を使った手料理でおもてなししている。しんどくはない。班長が楽しくないと来る人も楽しくないと家族ぐるみの開催を実践しています。」

西三班の森川副班長は「申告要求で会員になつちゆうがやきそれに応える班会にしたらい。言いにくいことを言える、本音が出る班会。それにはやっぱり飲み会!」と香美郡民商伝統の「おきやく」にかぎると強調すると、野市中班の井澤副班長も「班会では話し合いの時はおきやくせん飲み会になつたら言うけん」と。今日初めて飲まんと言言しゆう」と笑いを誘いましたが、そんなことはありません。井澤さんはいつも班会でいろんなことを話

香北班の古谷班長は、「私は税務調査に入られ困つていたところ民商に助けられた。その体験をみんなに知らせたいが、収入が減り調査自体減つた。班会は高齢化や介護で参加できない会員が多い」と悩みを語つてくれました。この発言をきっかけにテーマが税務調査や経営などバラエティに富んだ発言につながりました。

山崎会長は「それぞれの班が独自のスタイルで自主的に創意工夫して取り組んでいきたい。今日みなさんに出していただいた楽しく、役に立つ班会にしていくために何が必要かという意見は大変ありがたかつた。班会に参加することは会員の権利。権利を阻害しているのは何か、役員会できちんと議論していきたい」と総括。

この日は本場に活発な議論を交わしていただき、2時間近くの会議になりましたが、その後お約束の「おきやく」は婦人部手作りのおいしいお料理(いつもありがたうございます)を食べて楽しく交流し、意見交換をしていました。

(6/18香美郡民商会報)